

マグソクワガタ

Nicagus japonicus Nagel
コウチュウ目・クワガタムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

分布が局所的である。本県での既知産地は池田町榑俣のみであるが、当地でも近年全く確認されていない。奥越を中心とした調査の継続が必要である。

分布

北海道と本州に分布。分布は東日本に偏るが、近畿地方でも採集されている。池田町榑俣は本県唯一の産地で、奥越の環境が類似した地域では確認されていない。

種の特徴

体長は 10 mm 弱。雄は淡褐色で、雌は褐色。触角は雄で発達して拡大するが、雌は単純。山間の開けた明るい砂地の河原にすみ、早春のみに出現する。晴れた日にはよく地表近くを飛翔する。幼虫は砂中に埋もれた朽ち木内で成育する。

生息を脅かす要因

上流域や河畔にブナ等の良好な林があることが本種の存続条件であり、山間部における河川の護岸工事、砂防ダムの建設工事等による生息環境の改変により生息できなくなる可能性がある。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1999）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○								

アカマダラハナムグリ

Anthrachophora rusticola Burmeister
コウチュウ目・コガネムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本種を絶滅危惧種としてレッドデータブックに記載する自治体は多く、近隣では石川、富山県で絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。県内では今回 1 か所で確認されたのみ。県内での生息情報は不足しており、生態の解明を含めて今後注視が必要である。

分布

北海道～九州に分布。県内では、旧朝日町に戦前の記録、福井市に戦後間もなくの記録があり、あわら市域に比較的新しい記録がある。今回は坂井市三国町黒目で確認された。

種の特徴

体長 15.0～21.6 mm。前胸背板及び上翅は、黄褐色の地に黒色紋を配したまだら模様となる。成虫は 4～10 月にかけて出現。猛禽類、カワウの巣及びその周辺の残渣から本種の発生が確認されていることから、特に猛禽類との相互関係が注目される。

生息を脅かす要因

里山林の開発による消失や管理放棄による荒廃が本種の生息に影響を及ぼす。猛禽類の生息できる豊かな里山環境の保存が必要である。

参考文献

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○				○		○				○

オオムツボシタマムシ

Chrysobothris ohbayashii Y. Kurosawa
コウチュウ目・タマムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県では、越前町厨、福井市南居・文殊山より記録されているが、今回の調査では確認できなかった。分布域が限られており、注視を継続する必要がある。近隣では京都府で要注目種に指定されている。

分布

本州～九州に分布するが、稀な種である。本県では、越前町厨、福井市南居・文殊山より記録されている。

種の特徴

体長 14～20 mm。全体に青銅黒色で、上翅に小型で緑色円形の 3 対の凹紋を有する。成虫は、6～9 月に出現し、クヌギ、カシ類等の枯材に付く。

生息を脅かす要因

稀な種であり、生息域や個体数は限られていると考えられる。自然林の伐採等による生息環境の消失が、生息を脅かす要因となる。市街地に近い里山であっても、安易な伐採等は慎むべきである。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、大桃・福富（2013）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○										○